

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を病院長の許可のもとに実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 新規経口抗凝固薬モニタリングに関する研究

[研究機関] 北海道大学病院

[研究機関の長] 北海道大学病院長 寶金 清博

[研究責任者] 清水 力（検査・輸血部 部長）

[研究の目的]

非弁膜症性心房細動の患者さんでの脳梗塞発症予防としてワルファリンに替わる新規経口抗凝固薬（リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバンなど）が登場して来た。本研究の目的は、脳梗塞予防効果の判定ならびに出血性副作用の危険性の把握に有用な薬剤のモニタリング検査法を確立することである。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成26年7月～平成27年4月に非弁膜症性心房細動で北光記念クリニックに通院して、リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバンなどの新規経口抗凝固薬を服用している患者さん

●利用するカルテ情報

年齢、性、体重、服薬から採血までの時間、体重、腎機能、併用薬剤

●研究に用いる検体

北光記念クリニックで保管中の残余検体を用いる。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院検査・輸血部

担当医師 清水 力

電話 011-706-5713